

国際線等旅客施設整備・運営及びプライベート機受入事業

<利活用事業者>

三菱地所株式会社(東京都千代田区)
※当該法人が別途設立する法人も含む

①事業の進捗状況

国際線等旅客施設整備・運営事業(ターミナル事業)

- 2019年3月に旅客施設開業
- 国内線・国際線の定期便が開設され、チャーター便の受入なども実施
- 新型コロナの影響を大きく受けたものの、旅客数は増加している



プライベート機受入事業

- プライベート機運航会社、運航支援会社、業界団体などへ下地島空港の利用促進セールスを展開
- ホテル送迎車両を機側までつけられるようにするなど、世界水準のサービス提供ができる体制を構築
- 飛来数は増加しており、今後のハイエンドホテル開業を契機としたさらなる増加が期待できる



②事業の実績

<年間航空旅客数>

	目標	実績
○平成31年度	5.5万人	12.6万人
○令和3年度	30万人	22.2万人
○令和7年度	57万人	

【参考(目標設定なし)】

<プライベート機受入数(※利活用事業者の取扱数)>

	目標	実績(内訳)
○平成31年度	—	10回(内航4回、外航6回)
○令和3年度	—	13回(内航13回)

③事業の進捗評価

令和3年度航空旅客数

目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)	進捗評価※
30万人	22.2万人	74.0%	やや遅れ

※90%以上: 順調、75%以上90%未満: 概ね順調、60%上75%未満: やや遅れ、60%未満: 大幅遅れ

④今後の取組

新型コロナの影響を受けたものの、令和7年度の目標達成に向け、航空旅客数は概ね順調に推移している。今後も引き続き、国内外を結ぶ路線の誘致に取り組むとともに、旅客及びプライベート機等の受入体制の強化に取り組む。

県による事業レビュー

新型コロナの影響を受けているものの、他空港の航空旅客数が大きく減少する中、下地島空港では航空旅客数、プライベート機受入実績とも増加傾向にあり、概ね順調に事業を実施していると評価できる。